総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、 下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

フレイルが化膿性脊椎炎の予後に及ぼす影響の検討

2. 研究の対象患者

旭中央病院を受診し、化膿性脊椎炎に対して抗生剤加療を実施した患者さんのうち、以下の選択基準を 満たす患者さん

- 選択基準
 - 1) 化膿性脊椎炎の診断がついている
 - 2) 抗生剤加療をうけている
 - 3) 画像検査を受けている
- 除外基準
 - 1)手術部位感染の患者さん
 - 2) 治療開始後1週間以内に死亡した症例
- 3) 術後3ヶ月以内で追跡が終了している患者さん
- 4) その他、研究責任者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2012年1月1日~2023年12月31日

4. 研究の概要

化膿性脊椎炎は保存治療を第一選択とする疾患であるが、近年の高齢社会を背景として症例の増加と 発症年齢の高齢化が進行している。保存治療に難渋する症例も増加傾向であり、手術加療を要すること もある。近年の手術の低侵襲化に伴い早期から手術介入を実施する報告もありその適応については一定 の見解はない。本研究では当院での化膿性脊椎炎の治療例から予後不良となる症例の背景因子としてフ レイルが影響するかどうかを明らかにすることである。

5. 研究実施予定期間

2024年2月23日~2024年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕∶生年月日、年齢、性別、身長、体重、既往歴、併存症、入退院日、手術名·手術 日、診断名、培養方法、起炎菌、抗生剤投与期間

[患者の退院時評価]:歩行様式、Barthel index、退院時転帰

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の 評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者(又は代諾者)個々に開示することはあ りません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方に ご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも 患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

•研究責任者: 整形外科 北村昴己

・臨床研究支援センター

電話:0479-63-8111代